

HIO YOG

教区新報

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6-3-1
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1994. 2. 76号



姿消すモダン寺

起工式は3月9日に決定

年明けとともに本格的に解体工事が進みだし、一月二十二日には別堂の解体がすべて終わった。
続けて、内部の間仕切りや木部の取り壊しとともに屋根や尖塔の銅板の飾りやステンドグラス、正面玄関両脇の観音・勢至菩薩の銅板レリーフが取り外され、正面アーチ部や東面窓枠などに使われていた「テラコッタ」(「粘土で造形した素焼きの装飾」)を型どりのために取り外すなどの手作業が終わり、宮殿が運び出された本堂の建物解体が始まった。

一月三十一日には、建設・推進委員会総務部会が開催された。
総務部会では本年度の経過と進捗状況が報告され、起工式は三月九日午前十一時から行うことが決まり、本山や別院・教区代表者、建設・推進委員会委員、工事関係者らが出席する予定。その他、募財の進捗状況や納骨所の問題を協議し、続いて顧問会が行われた。

養父組で「消息披露」
本堂の解体作業が進む一方で、一月二十六日には、

31日
建設推進委員会総務部会、顧問会
起工式の日程、募財の状況、納骨所の問題などを協議

予定
2/5日ごろから
撤出
地階、基礎解体、廃材

9日
定例打ち合わせ
14日ごろから
南面土塀撤去、足場仮囲い撤去
21日ごろから
整地、地盤改良
2月末ごろ
ボーリング調査

3/9日 11時
起工式
建設懇志進納総額
八億三千八百八十八万六千九百九十一円
(93年12月31日現在)

19日
建築確認申請許可
20日
定例打ち合わせ
22日
書院解体完了
24日
本堂躯体解体開始
パワショベルの油圧パイプ破損や破砕機の爪が折れるなどコンクリートの堅さのせい、作業に相当の時間がかかる
26日
養父組ご消息披露



敬 弔

田中八重子さん(たなか・やえこ)水東組受樂寺前坊守)一月十一日、七十三才で往生。葬儀は一月十三日、受樂寺で。「弘願院釋妙靜」。

同兵宗連が 宗教者対象に学習会

来る二月十七日、午前十一時半から別院仮本堂において「同和問題」とりくむ兵庫県宗教教団連絡会議主催の県内、各宗派の宗教者を対象にした学習会が開催される。

講師は、近畿大学人権問題研究所専任講師・部落解放同盟大阪府連書記次長の北口末広氏。講題は「暮らしの中の偏見と部落差別」。北口氏は、大阪府などが公募した人権啓発演劇ストリーク最優秀作品(実際にあった差別を題材にして書いた「もしもあの電話がなかったら」)の作者。
参加希望者は電話で、教務所同兵宗連事務局まで。(会場の都合で定員締切)



今年は戌年。古来家畜といえば牛馬犬猫のこと。牛馬は終戦前までは耕作や運搬に携わっていた。今は耕運機がとって代わり猫は鼠の減少でペットと化した。犬だけは人間の片腕となって働いている。例えば盲導犬、救助犬等。古代エジプトの壁画にも人間と共に犬が描かれており人の歴史と共に働いてきた動物だ。犬の美談は数々あるが特に印象的な話は中国六朝時代に陸機という文官がいた。愛犬黄耳を伴って京師に赴任中故郷に急用が来た。黄耳に手紙を託し返事を貰うように言う。耳を垂れて聞き、往復五十日を費やしての使命を果たすと共に死んだ。陸機は悲しみの中に黄耳を手厚く埋葬した。飼育の恩に報いる話として深く心を打つものである。◆仏教では法乳の恩という言葉を。如来から頂く法のお育てを指すが、その恩に報いることは新年に当って拝読する領解文にも「御恩報謝と存じ、御開山聖人御出世の御恩、次第相承の御恩」と示されるのはこの事。(菊川秀葉)



（一面から）
敬下さる皆様へと、息吹きかけて下さった」と話した。続いての推進のついでには、田中法親委員長、山本宣昭副委員長が計画推進概要、建設計画の説明などを行い、参加者からは組の実状を訴える意見などが出され、協力態勢づくりへ向けて協議がなされた。

「悪人正機」テーマに

門徒推進員研修会で話し合い

会員自身の信の確立と基幹運動の積極的な実践などを目的とした教区門徒推進員研修会が一月二十三日、姫路西組光瑞寺で七十六人の推進員さんが参加して開催された。講師は藤山達郎

師（神崎組乗徳寺）和田宏之師（揖龍東組源徳寺）テーマは「悪人正機の教え」

におちるといい、またその反対にそのままのお救いともいわれます。どちらが本当なのでしょう。などの問いについて班別での法座が行われた。全体討議の進行をされた和田師は「悪人正機がはつきりとはわからないが、大切なテーマなので何とか理解して私のことばで伝えなければという意気込みが感じられた。推進員さんの活動上の悩みも出され法座では活発な話し合いがなされたようです」と話していた。



教区門徒推進員連絡協議会の中西正一会長は「推進員の活動において各自の信の確立が大切であり、研修を続けていかなければ」と今後への思いを述べた。

谷川さんら50年表彰

HO日誌

◆1月9日 永代経開闢法要を大谷本廟で。「今日は、お参りがありませんでしたと仮事務所に帰って疲れた表情の職員でした」◆14日 比ハ一兵庫の会員らが神戸市北区の「ふじの里」で月例の実践活動◆15日 ホテル・シエラで開催された部落解放同盟兵庫県連合会94年新春冠旗びらきと同兵宗連事務局長の杉本昭典師（北撰組光澤寺）と担当者出席◆14日 16日 別院常例法座。講師は山崎一朗師（出石組正福寺）◆17日 住職在職五十年の宗派褒賞を教務所長が伝達。受賞者は谷川秀城住職（加古川組正念寺）徳本義淳住職（高砂組延寿寺）鈴木武夫住職（高砂組正覚寺）◆職員歓迎会◆18日 内装の解体が進められている本堂に残っていた宮殿を西側の壁を破ってクレーンで搬出。思ったより簡単に作業が進んで短時間で終了した◆19日 仏婦連盟新年委員総会をハーバーランド・ニュー



オータニで。委員総会はダテナ手帳の頒布現況、世界大会、今年度の今後の予定についてなど。終了後の懇親会では「今年もよろしくと乾杯。和気あいあいとしたひとときを過ごした」◆20日 別院仏婦報恩講。奉讃大師作法のお勤め、土基輪番の法話など。仮本堂に移ってからもいつもの顔ぶれが続けられています◆21日 比ハ一兵庫推進部会・ビハ一兵庫役員会◆22日 この日、別堂の解体が終了して木造の建物は姿を消した◆神明組新年会上原副輪番出席◆神戸中組報恩の集いに教務所長が出席し法話◆23日 門徒推進員研修会（別記）◆北撰組新年協議会に安井主事が出席。「総代会・仏壮を中心としたなごやかなついででした」◆神戸西組新年会に教務所長と職員出席◆24日 教区内の布教使有志で組織する十方会が総会・懇親会。懇親会には教務所長・職員も出席。役員改選が行われ、会長は杉本昭典師（北撰組光澤寺）、副会長は光森宣明（北撰組正覚寺）松島法城師（多紀組専福寺）と決まった◆姫路中組住職寺族同朋講座を了覚寺で。講師は大田唯念師（播磨中組西念寺）◆25日 本山での組巡教打ち合わせに上原副輪番出席。教区では94年度末に新宮組が予定されています◆青僧会が三宮で会員交流のボーリング大会と懇親会◆25日 26日 大阪刑務所での矯正管区一泊研修会に教務所長、担当者ら教区内から十人が出席。講師は本派矯正教化連盟事務局局長・長岡晃澄師他◆26日 本願



氷上西組浄福寺住職
澤田知寿さん
「今の世代の人が家になく、という現状からすると家を継いでいく人がいなくなるのは目に見えている」と語る澤田住職は龍谷大学を卒業後すぐに氷上町役場

あるが、寺院維持に厳しきがある過疎地での継職に気負いはないのは「僧侶としての風格があった人のおかげだ」という前住である祖父と「一生懸命にやることを教えてくれた父」の後ろ姿をみていたからか。と想像してみるが、おふたりとも在学中に亡くなられた。



仏法をスピードと共に

「老若男女が法座に参れるような雰囲気ができたらうれしい。一年一年慣れて行って問題点をつかめるような視野を広げて、寺同士のつながりの中で学んで行けたら」という抱負を語る姿は「あまりまじめなほうじゃないですから」と照れながらも、力まない自然体であった。

昨年十一月十八、十九の両日、即如門主組巡教を迎えた氷上西組では、過疎化による門徒数減少や、それに伴う寺院運営の問題、無住寺院を多く抱えた組で連携を保とうとする上での困難を

組巡教のひと月前に継職法要を勤めたが、浄福寺の住職に就任したのは在学中三回生の時だった。当然のように世襲されていく浄土真宗寺院の住職で

あるが、寺院維持に厳しきがある過疎地での継職に気負いはないのは「僧侶としての風格があった人のおかげだ」という前住である祖父と「一生懸命にやることを教えてくれた父」の後ろ姿をみていたからか。と想像してみるが、おふたりとも在学中に亡くなられた。

寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立総合復興計画に関する養父組ご消息披露を永照寺で。（別記）◆少年連盟組少年教化巡回研修会を赤穂北組法林寺で。「しばらく途絶えていた研修会で、阪神東組と赤穂北組で組長さんらの快いご協力により今年度は実施することができました。以前教区の連盟で実施したアンケートでは、法務が多忙でやりたいけどできないという声が多かった。『第二土曜はお寺の日』のキャンベーンをきっかけに各組へ

出向いて日校の実態を把握して組という単位で少年教化を考えていきたい」と少年連盟の楠委員長。この研修会についてのお問い合わせ、実施のご希望がありましたら教務所までご連絡ください◆27日 寺婦連盟新年委員総会をハーバーランド・ニューオータニで。今年度活動現況とブロック研修・開法旅行の反省など。次年度は兵庫教区が担当となる近畿ブロック寺婦研修の開催について協議。総会の懇親会では恒例のプレゼント交換などでなごやかな



1/26 法林寺での少年教化巡回研究会

「親鸞聖人の生き方に学ぶ」と題して講演。中尾理事長は「正信偈の意味がわからなかったが、最初と最後の一句で基本的なところを教えてくださいたいと思っていました」と話していた。お夕事のあとは赤とんぼ荘で懇親会◆31日 建設・推進委員会総務部会（一面に関連記事）◆建設・推進委員会顧問会
〔訂正〕
先月号のこのページで、職員尾井英瑛は秀瑛の誤り、録事・参勤の高藤昭文が漏れておりました。

仏壮研修会で喜びの声